

# 株式会社シード

## 2026年3月期 連結決算説明会

2026年5月26日  
(証券コード:7743)

まだみぬ、世界は、美しい



# 目次

1. 2026年3月期 決算概要
2. 2026年3月期 トピックス
3. 参考資料

# 目次

1. 2026年3月期 決算概要
2. 2026年3月期 トピックス
3. 参考資料

# 2026年3月期 サマリー(連結)

## 売上高

33,942百万円

前年同期比 +2.1%

- ・Pureシリーズを中心に売上が伸長
- ・市場における価格競争や流通チャネルの多様化等の影響を受ける

## 売上総利益

15,222百万円

前年同期比 +4.1%

- ・2025年3月期第2四半期に発生した生産トラブルは解消しており、その影響により当期の売上総利益は改善
- ・製品の歩留りの改善があったものの、円安によって一部輸入商品の仕入原価が上昇

## 営業利益

1,439百万円

前年同期比  $\Delta$ 7.8%

- ・スマートコンタクトレンズ事業の会社分割やシンガポールでの物流拠点の立ち上げ等、組織改編の検討に伴うアドバイザー費用等が発生し、販管費が増加

## 国内外のコンタクトレンズ市場状況

- 近視人口増加に伴う装用人口の増加や装用者の年齢層拡大により、緩やかながらも成長を続ける
- 乱視用や遠近両用等のスペシャリティレンズ、カラー・サークルレンズ、オルソケラトロジーレンズの需要拡大が続く
- 海外においては中国市場の停滞感は見られるものの、東南アジアやインド等、特に急速に経済発展している国々において市場の拡大が見込まれる

# 2026年3月期 連結決算ハイライト

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2024/3期	2025/3期	2026/3期	前年同期 増減額	前年同期比	2026/3期 通期見通し (2025年5月12日公表)	進捗率
売上高	32,396	33,231	<b>33,942</b>	+710	+2.1%	37,000	91.7%
売上総利益	14,183	14,628	<b>15,222</b>	+594	+4.1%	-	-
(売上総利益率 ／粗利率)	(43.8%)	(44.0%)	<b>(44.8%)</b>	-	(+0.8%)	-	-
営業利益	2,050	1,562	<b>1,439</b>	△122	△7.8%	2,000	72.0%
(営業利益率)	(6.3%)	(4.7%)	<b>(4.2%)</b>	-	(△0.5%)	(5.4%)	-
経常利益	2,059	1,333	<b>1,406</b>	+72	+5.5%	1,600	87.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,964	1,092	<b>1,135</b>	+43	+4.0%	1,100	103.2%

# 事業別売上高

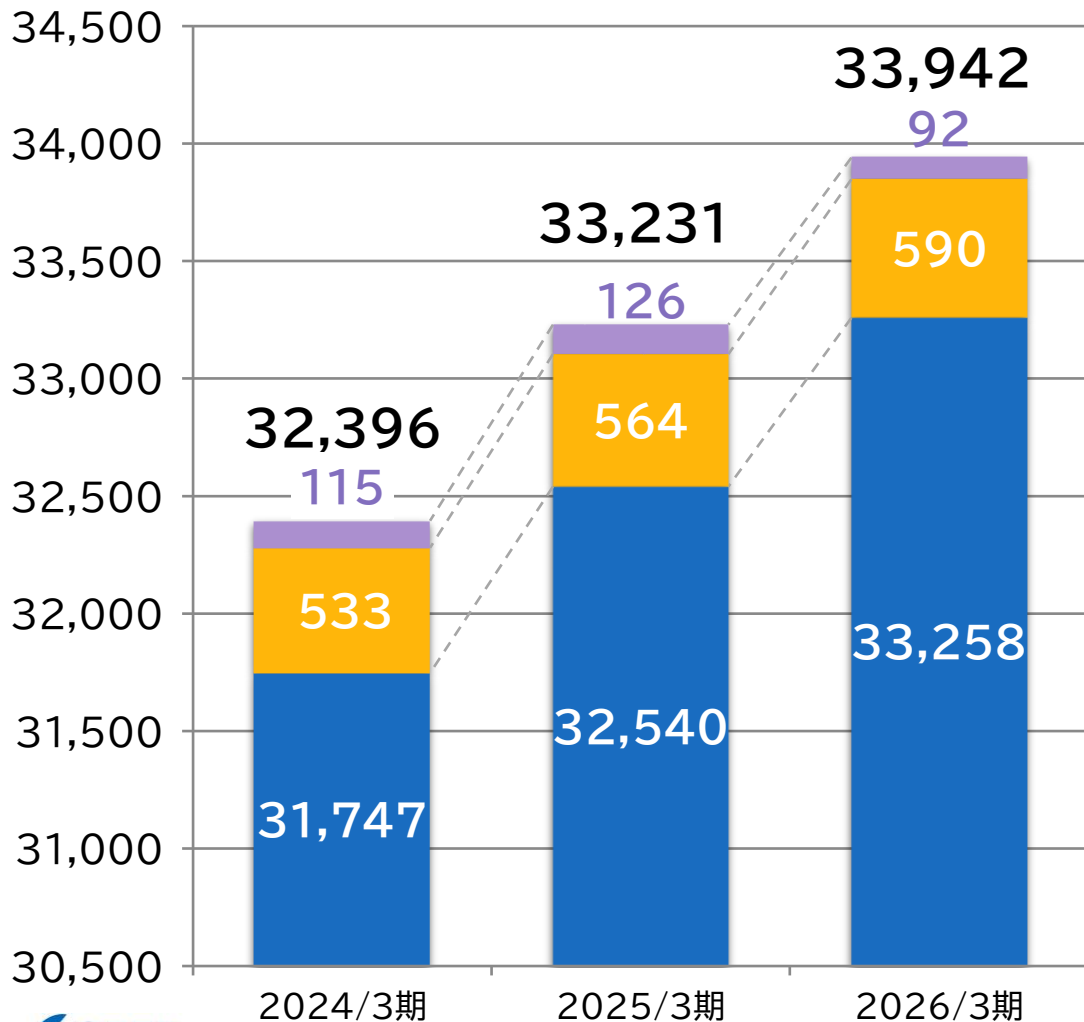
連結

※コンタクトレンズ:光学器械含む ※その他:眼内レンズ・眼鏡事業含む

[百万円]

百万円未満切捨て

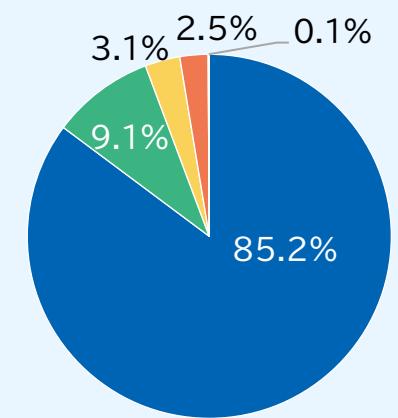
■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■その他



© SEED Co., Ltd. All Rights Reserved.

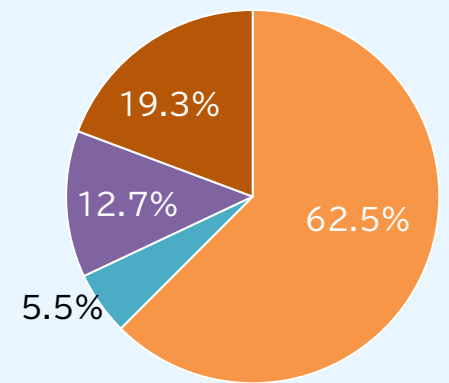
単体

## 売上高CLカテゴリー比率



- 1day
- 2week
- コンベンショナルレンズ
- オルソ
- その他

## 売上高1dayカテゴリー比率



- 近視・遠視用
- カラー・サークル
- 遠近両用
- 乱視用

※カラー・サークルの乱視用及び遠近両用はすべて「カラー・サークル」カテゴリーに含めて集計

## 商品別対前年同期比(単体卸売ベース)

ワンデーピュア	1.6%増	2ウィークピュア	1.5%増
エアグレード	44.4%増	カラー・サークル	2.0%増

## カテゴリー別対前年同期比(単体卸売ベース)

乱視用	10.0%増	遠近両用	10.8%増
-----	--------	------	--------

※2024年2Qより乱視用において納期遅延が発生→2025年5月28日をもって全て解消  
 ※エアグレードは1dayと2weekの合計  
 ※乱視用・遠近両用は使い捨てとコンベンショナル(東レ製品は除く)、カラー・サークルレンズ合計

# 販管費の状況

連結

[百万円]  
百万円未満切捨て

	人件費	広告 宣伝費	研究 開発費	物流 関連費	その他	
2025年3月期 販管費実績	4,223	1,318	2,156	2,015	3,352	13,066
	+374 (109%)	△118 (91%)	△5 (100%)	△91 (95%)	+557 (117%)	+716 (105%)
2026年3月期 販管費実績	4,597	1,200	2,150	1,923	3,910	13,782

- 人件費 :4号棟新設に伴う人員増加、賃金・待遇の改善により、前年同期比で増加
- 広告宣伝費:国内キャンペーン・イベント等の広告活動は拡大したものの、2025年3月期において多く発生していたコーポレートブランディングに係る費用の減少により、前年同期比で減少
- 研究開発費:近視進行抑制をはじめとする複数の治験やスマートコンタクトレンズの開発費用等の影響により、前年同期比で横ばい
- 物流関連費:国内の注文・発送形態の見直し及び海外発送の効率化等により、前年同期比で減少
- その他 :スマートコンタクトレンズ事業の会社分割やシンガポールでの物流拠点の立ち上げ等、組織効率化を目的とした組織改編の検討に伴うアドバイザー費用等が発生したため、前年同期比で増加

# 利益増減分析

連結

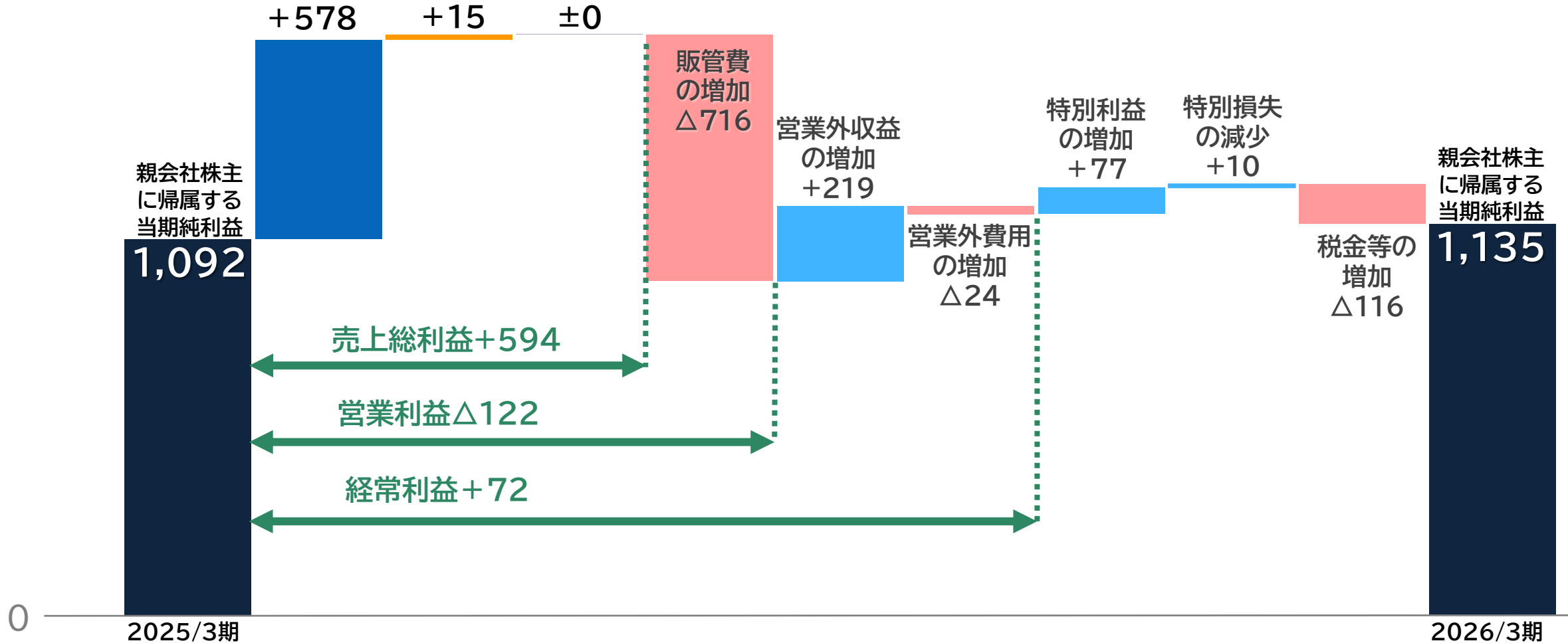
[百万円]

百万円未満切捨て

※コンタクトレンズ:光学器械含む

※その他:眼内レンズ・眼鏡事業含む

■コンタクト ■ケア用品 ■その他



# 財務状況推移

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2025/3月末		2026/3月末		前期比較
	金額	構成比	金額	構成比	
資産の部計	51,760	100.0	62,500	100.0	+10,739
流動資産	20,677	39.9	21,815	34.9	+1,138
内 現預金	7,116	13.7	4,211	6.7	△ 2,905
商品及び製品	5,588	10.8	7,642	12.2	+2,053
貸倒引当金	△ 26	△ 0.1	△ 54	△ 0.1	△ 28
固定資産	31,083	60.1	40,684	65.1	+9,600
内 有形固定資産	27,827	53.8	36,825	58.9	+8,998
無形固定資産	923	1.8	1,616	2.6	+693
負債の部計	33,375	64.5	42,898	68.6	+9,522
流動負債	18,139	35.0	27,658	44.3	+9,519
内 短期借入金	12,288	23.7	13,894	22.2	+1,605
短期リース債務	1,852	3.6	2,092	3.3	+240
未払金	2,160	4.2	9,946	15.9	+7,786
固定負債	15,236	29.4	15,239	24.4	+3
内 長期借入金	6,799	13.1	5,592	8.9	△ 1,207
長期リース債務	5,322	10.3	6,890	11.0	+1,567
純資産の部計	18,385	35.5	19,601	31.4	+1,216
負債・純資産計	51,760	100.0	62,500	100.0	+10,739

2024年3月期実施の増資による調達資金を4号棟建設費用支払いに充当

商品:新商品初期在庫の仕入  
製品:適正在庫に向けた在庫状況の改善

4号棟建屋及び、製造設備導入費用

4号棟建屋完成に係る未払金が発生

返済による減少  
(4号棟建屋建設による借入は2027年3月期に発生予定)

# キャッシュ・フロー | 主要項目

連結

[百万円]  
百万円未満切捨て

	2025/3期	2026/3期	前期比較
<b>営業活動によるC・F</b>	2,978	2,690	△ 287
内 税金等調整前当期純利益	1,326	1,486	+160
減価償却費	3,319	3,200	△ 118
棚卸資産の増減額(△は増加)	△ 673	△ 1,785	△ 1,112
<b>投資活動によるC・F</b>	△ 4,574	△ 3,840	+734
有形固定資産取得	△ 4,683	△ 3,128	+1554
無形固定資産の取得	△ 38	△ 234	△ 195
<b>財務活動によるC・F</b>	△ 1,127	△ 1,908	△ 780
内 短期借入金の純増減額	△ 1,050	1,400	+2,450
長期借入金の返済	△ 2,178	△ 1,906	+271
リース債務の返済による支出	△ 1,345	△ 1,439	△ 94
<b>現金及び現金同等物 期末残高</b>	<b>7,078</b>	<b>4,171</b>	<b>△ 2,906</b>

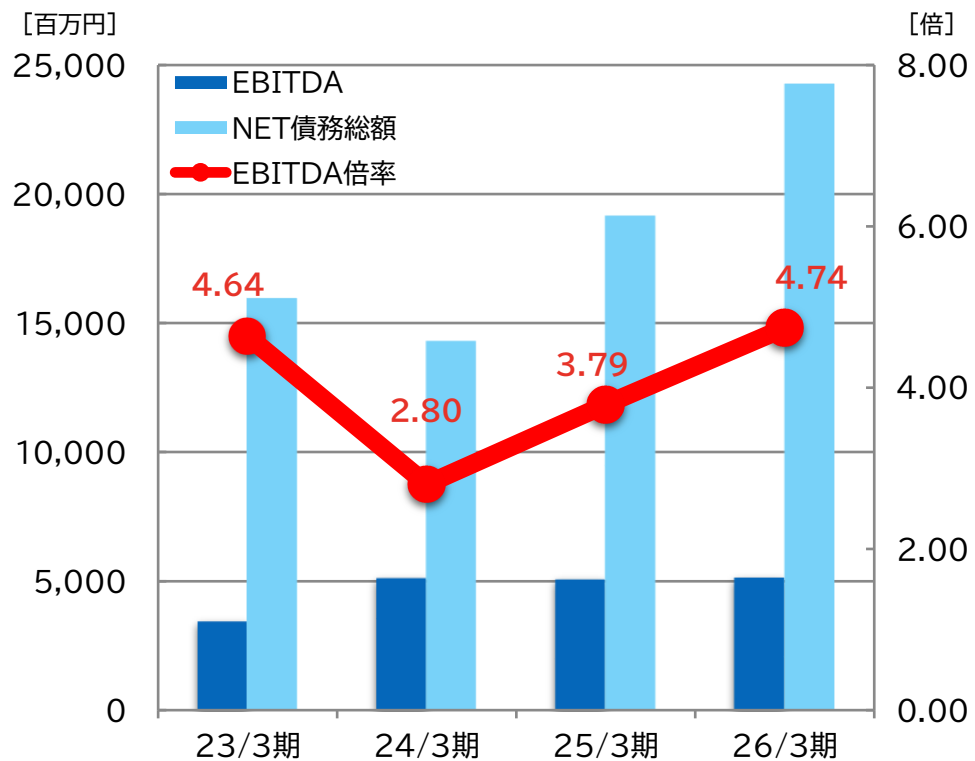
安定供給に向けた在庫  
積み増しによる改善

安定供給を目的とした、在庫の  
積み上げによる運転資金の調達

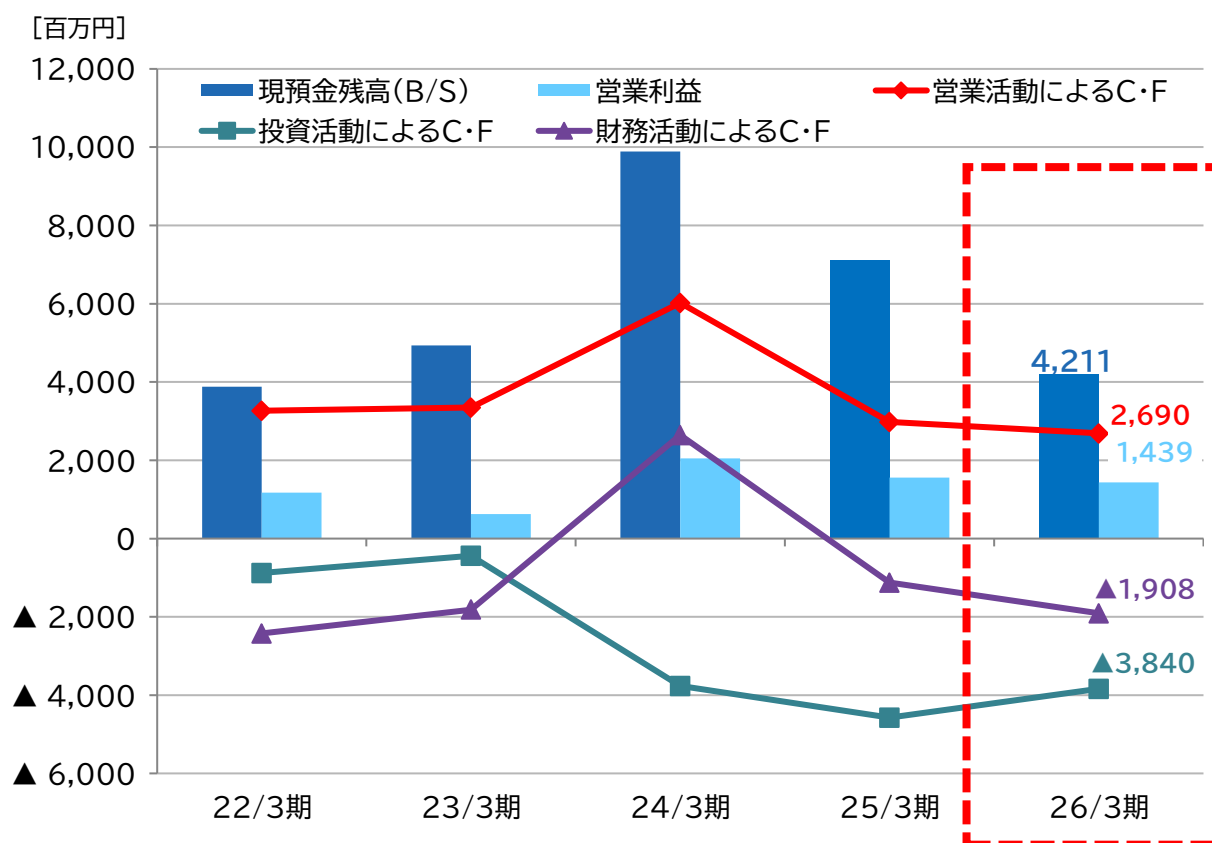
# キャッシュ・フロー：関連指標推移

連結 [百万円] 百万円未満切捨て

	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
<b>EBITDA</b>	4,140	3,438	5,102	5,055	5,114
<b>EBITDAマージン</b> EBITDA÷売上高	14.4%	11.2%	15.8%	15.2%	15.1%



◇EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息  
◇NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

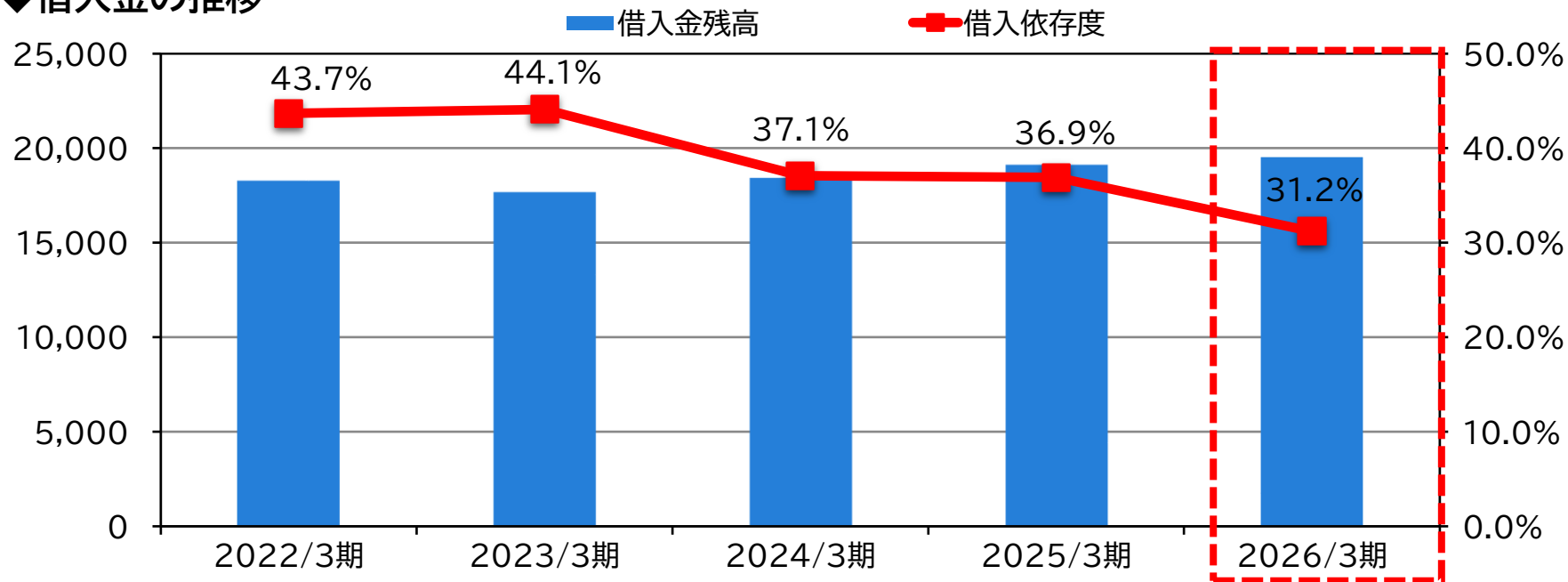


# 財務・株価指標 | 推移

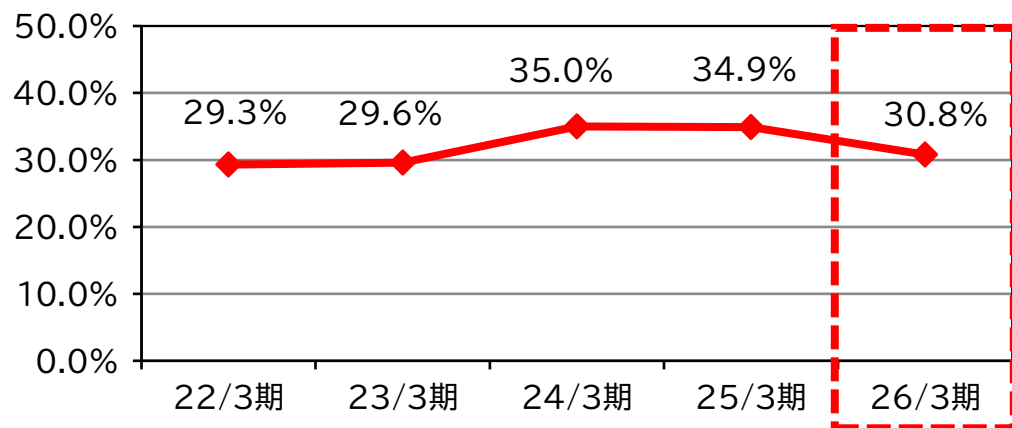
連結

[百万円]

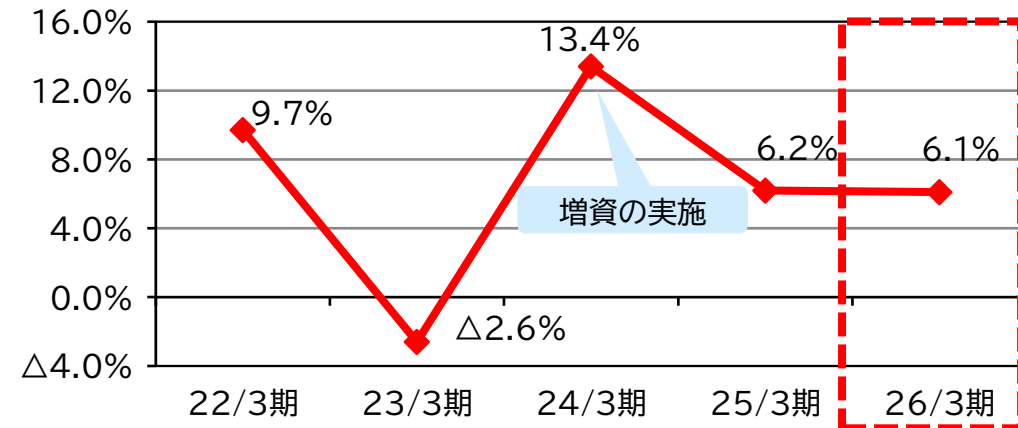
## ◆借入金の推移



## ◆自己資本比率



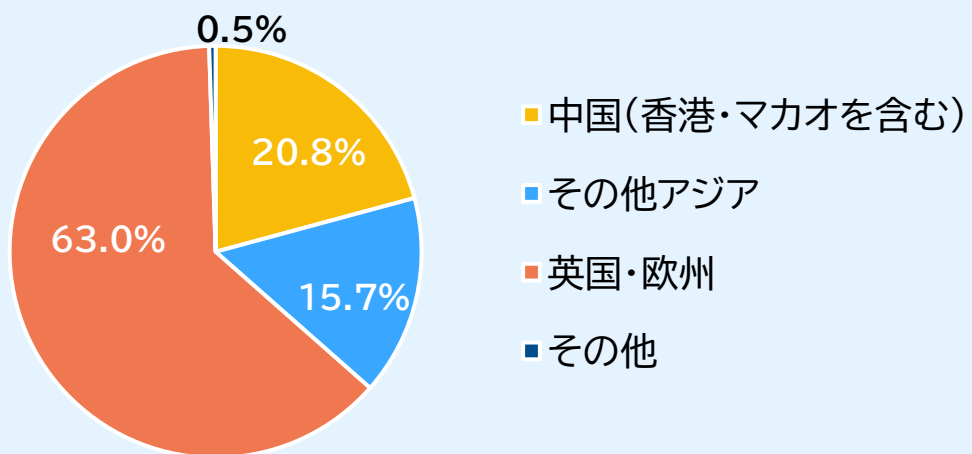
## ◆自己資本当期純利益率(ROE)



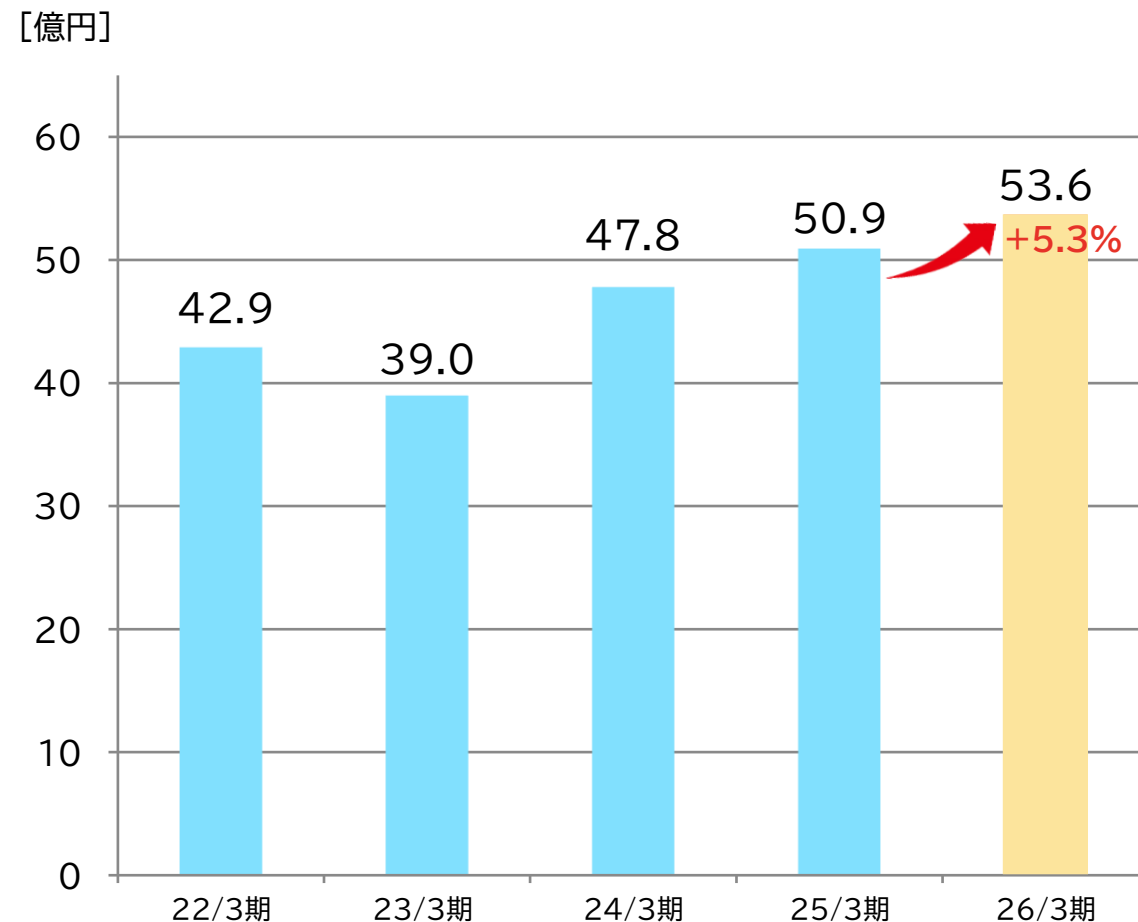
# 国際展開



◆海外売上高構成比(2026年3月期)



## 海外売上高推移



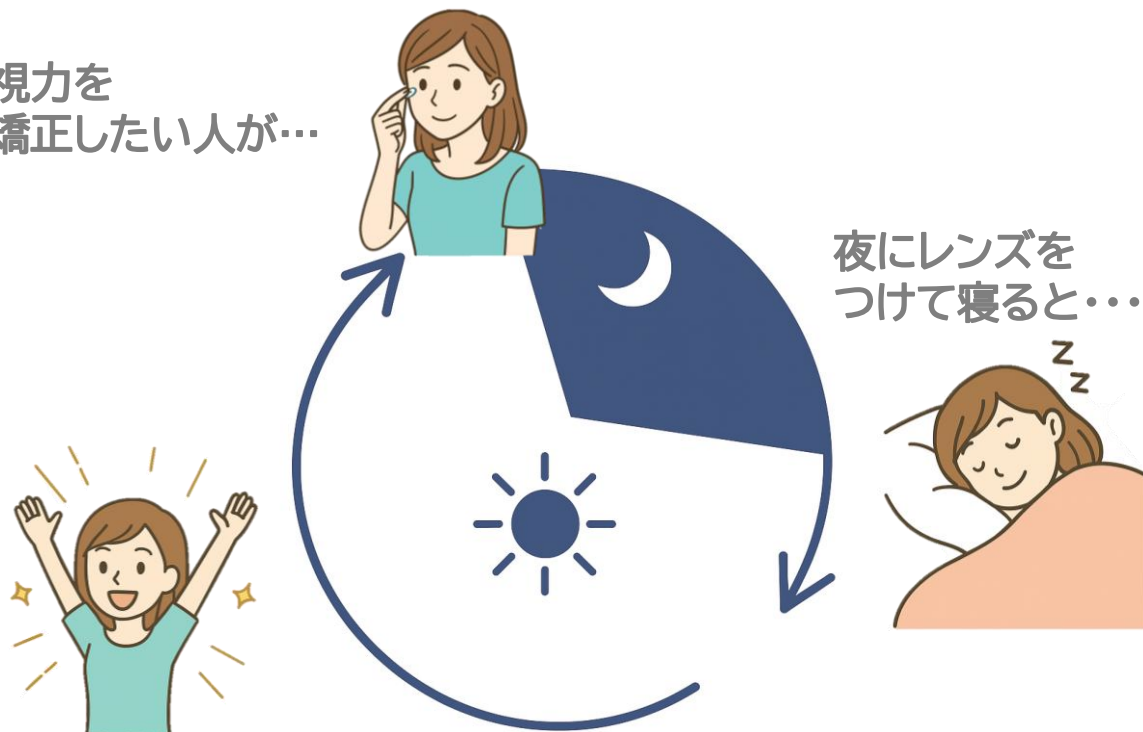
※現地法人売上+当社から現地代理店への卸売合計

# オルソケラトロジーレンズ

寝ている間に視力矯正ができる  
オルソケラトロジーレンズ

寝る時にレンズを装用することで角膜形状を変化させ、起床後にレンズを外して  
日中は裸眼で過ごすことができる治療法

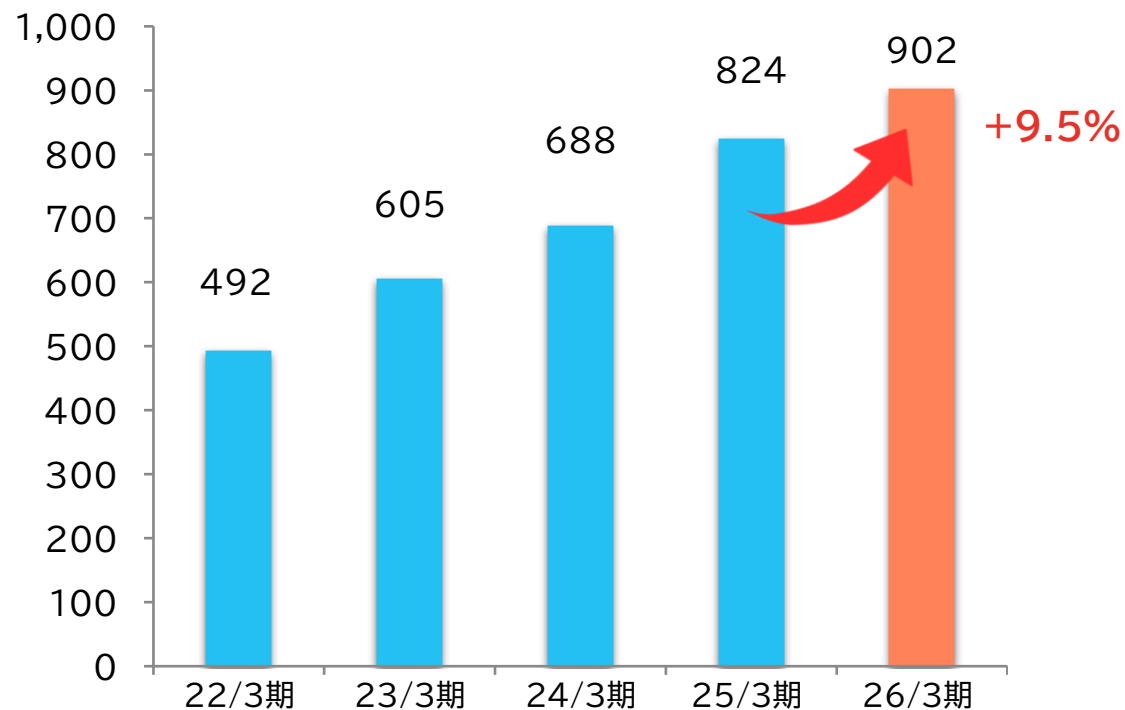
視力を  
矯正したい人が…



[百万円]  
百万円未満切捨て

## オルソケラトロジーレンズ売上

※定額制を含む  
※卸売ベース



国内外の販売状況：日本、東南アジア、香港、インド／ 欧州(Wöhlk社・Scotlens社製品を販売)

# 目次

1. 2026年3月期 決算概要
2. 2026年3月期 トピックス
3. 参考資料

# 東京証券取引所スタンダード市場への市場区分変更承認に関するお知らせ

当社は、2026年3月31日をもって当社株式の東証における上場市場区分が東証プライム市場から東証スタンダード市場へ変更いたしました。

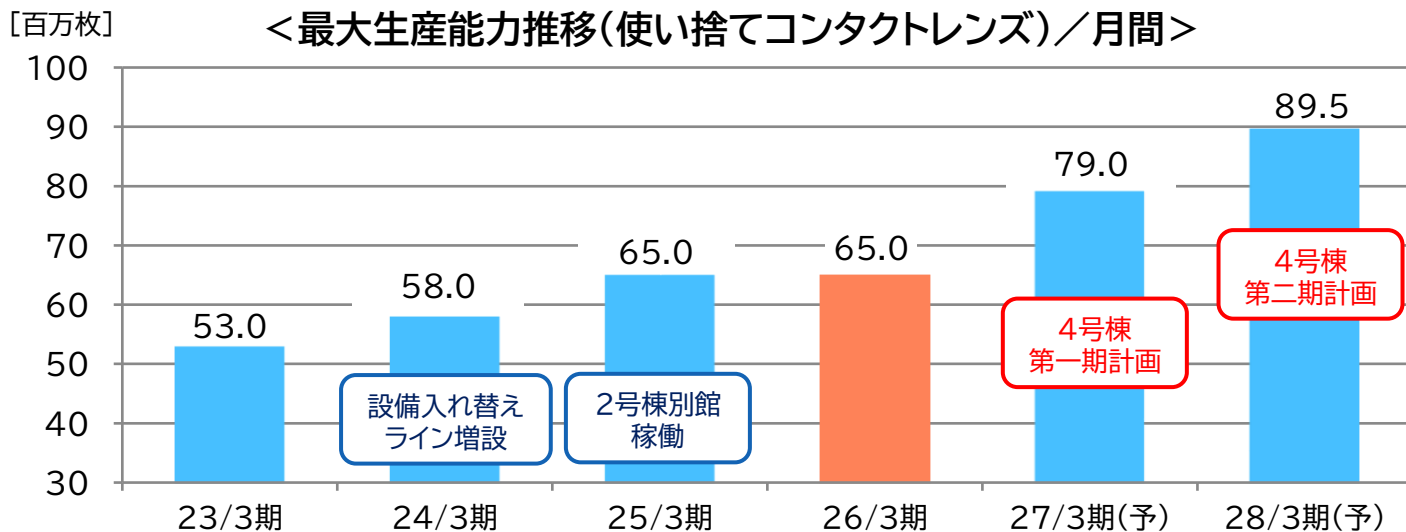
上場市場区分変更後も、コーポレート・ガバナンスの強化、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応等、持続的かつ中長期的な企業価値向上への取組に関する当社の基本方針につきましては変更ございません。

今後も、株主や投資家の皆さまのご期待に応えるべく、広報・IR活動の更なる充実を図り、当社へのご理解を深めていただけるよう努めてまいります。引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



# 2026年3月期トピックス 鴻巣研究所 生産力の増強

鴻巣研究所4号棟 2026年1月に竣工  
第二期計画が完了することにより、年間最大生産能力は【10億74百万枚】に増加



鴻巣研究所全体の鳥瞰図

時期	計画内容	最大生産能力／月間※	進捗状況
2027年3月期	4号棟 第一期	6,500万枚 →7,900万枚	2026年3月より順次稼働
2028年3月期	4号棟 第二期	7,900万枚 →8,950万枚	着工:2026年7月 2027年4月より順次稼働予定



「大規模成長投資補助金」交付の対象(2025年11月20日公表) 補助金の上限額 最大で約40億円

※実際の交付額は、補助事業実施期間における投資結果や資金充当の方法、補助対象事業完了後の検査等の結果により、変動する可能性があります。

# 2026年3月期トピックス 「ベルミー」 新色発売

2026年5月20日

“なりたいたいわたしを選べる”カラーコンタクトレンズ「ベルミー」から水光ヴェールカラコン2色を新発売

1日使い捨てサークルコンタクトレンズ「シード Eye coffret 1day UV M」の姉妹ブランドとして、2022年4月に発売したカラーコンタクトレンズブランドの「ベルミー」から、新色2色を発売しました。豊富なカラー展開で、「毎日変わる、なりたいたいジブンに自由に、好きに着替えたい」、そんな気持ちに寄り添います。



## Melty Gloss(メルティーグロス)

三日月のようなハイライトカラーで自然な立体感とふんわりと華やかなうるっとツヤめく瞳を演出



## Dewy Gray(デューイグレー)

ベルミー唯一のグレーカラー。繊細なドットで描いた放射状のデザインで奥行きのある洗練された目もとを演出



# 2026年3月期トピックス Pureシリーズ リブランディング実施一

## 【Pureシリーズ】ブランド価値を再認知・理解してもらうことを目的にリブランディングを実施

近年コンタクトレンズ市場では、シリコンハイドロゲル素材の拡大が進む一方、HEMA素材を用いた製品も引き続き成長を続けています。当社は、HEMA市場での圧倒的No.1を目指し、Pureシリーズのリブランディングを推進いたします。シリコンハイドロゲル素材のコンタクトレンズについても開発を進めるとともに、WEB広告等のデジタル施策を強化し、固定観念に捉われることなくブランド価値の認知・理解向上を図ってまいります。

### ■1dayPureシリーズのブランド価値を再認知 「お得・品質へのこだわり・継続価値」 を分かりやすく訴求

#### お得

1箱32枚入りのパッケージを採用しており、一般的な30枚入りと比較し年間で約1か月分(両眼で48枚分)相当の枚数がお得。

#### 品質への こだわり

すべての工程を日本国内で一貫生産している「Made in Nippon」のコンタクトレンズ。徹底した品質管理と検査体制のもと、1枚1枚丁寧に作り上げています。

#### 継続価値

毎日使う必需品だからこそ、「お得」と「品質へのこだわり」を積み重ね、長く使い続けられる価値を提供



# 2026年3月期トピックス 会社分割(簡易吸収分割)に関するお知らせ

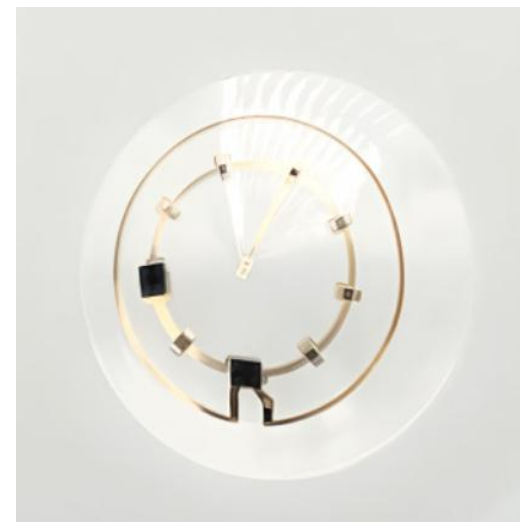
当社は、2026年5月19日開催の取締役会において、2026年7月1日を効力発生日(予定)として、スマートコンタクトレンズ事業を会社分割(簡易吸収分割)により、当社の完全子会社である株式会社オキュデバイセズ(以下「オキュデバイセズ」といいます。)へ承継すること(以下「本吸収分割」)を決議しました。なお、本吸収分割は、当社の完全子会社との間で行う簡易吸収分割となっています。

## 【本吸収分割の目的】

スマートコンタクトレンズ事業に関する経営資源をオキュデバイセズに集約することによって、将来的な資本・業務提携を見据えたオープンな事業運営が可能となります。また、意思決定プロセスの迅速化を図り、研究開発パートナーとの連携創出を加速することを目的としています。

吸収分割承継会社(2026年5月15日現在)

名称	株式会社オキュデバイセズ
所在地	東京都文京区本郷二丁目40番2号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 福田 猛
事業内容	スマートコンタクトレンズの研究、開発、製造及び販売 等
資本金	25 百万円
設立年月日	2026年5月15日
発行済株式数	1,000 株
決算期	3月31日
大株主及び持株比率	株式会社シード 100.00%



# 2026年3月期 今後の成長に向けた取り組み

## Personalization



お客さま一人ひとりに合わせた製品の開発  
乱視遠近、カスタムオルソ・スクレラルレンズ  
(Scotlens)



シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲルレンズの開発



遠近両用



乱視用



スマホ眼用

スペシャリティレンズの開発

国内産初の使い捨てレンズ

Pureシリーズについて  
今後リブランディング実施

## 近視進行抑制

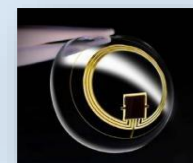


近視進行抑制分野の用途拡大を目指した治験を実施  
(シード1dayPure EDof・オルソケラトロジー)



## シリコンハイドロゲルレンズの開発

次世代の高酸素透過性レンズ開発、治験終了  
早期上市に向けて準備中



## スマートコンタクトレンズの開発

- ・トリガーフィッシュに続く、新たなデバイスを内蔵したスマートコンタクトレンズの開発
- ・革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))のNICT事業に採択
- ・コンタクトレンズへの電子部品等実装技術の標準化及び、大規模集積回路開発に成功、プラットフォーム公開、当社ホームページにて特設サイト開設



## 新分野への進出

内視鏡フード、リング状デバイス等のコンタクトレンズの  
技術を生かした新たな分野への進出

## 次世代商品の開発

# 中期経営計画(2024年4月～2027年3月)

2024年1月12日開示 3ヶ年中期経営計画

2025年5月20日開示・2026年5月11日開示 進捗状況と今後の重点課題更新

## 【中期経営計画の位置付け】

- ・連結売上高500億円を達成し、世界のコンタクトレンズ市場でプレゼンスを発揮するための生産基盤の確保  
(売上・業容拡大の足枷となっている商品供給力の不足を補うため、積極的な設備投資を行い、世界に伍する生産能力の整備を行う)
- ・省人化生産を実現し、競争力を維持できる生産体制の構築
- ・更なる品質の向上をすすめ、安心安全を追求
- ・コーポレートブランドの再構築による企業価値の向上
- ・環境経営の推進
- ・人的資源の強化を通じた事業基盤の整備

生産力を抜本的に改善する3年間となっており、大幅な収益改善は4号棟完成(2027年3月期)以降となります。この中期経営計画期間中における収益力の改善は、2号棟別館や4号棟第一期計画の稼動や歩留りの着実な改善等によるものにとどまりますが、将来の成長に対するコストをこの期間にかけることにより、中長期的な当社の成長へと繋がります。

# 中東情勢による財務目標への影響

中東情勢の不安定化により、エネルギー価格や物流・調達環境の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社では、供給制約や原材料価格の高騰による原価上昇、新商品発売の遅延等のリスクも想定されることを踏まえ、各種対応を進めるとともに、これらのリスク要因を加味し、中期経営計画における財務目標を見直すことといたしました。

今後も、国内外の関係先との連携を強化し、安定供給の維持に努めてまいります。

# 2027年3月期見通し

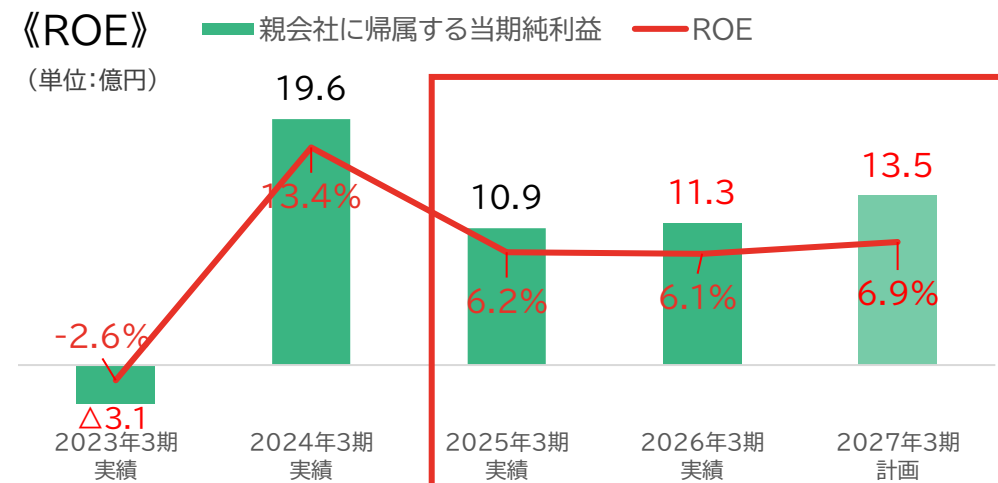
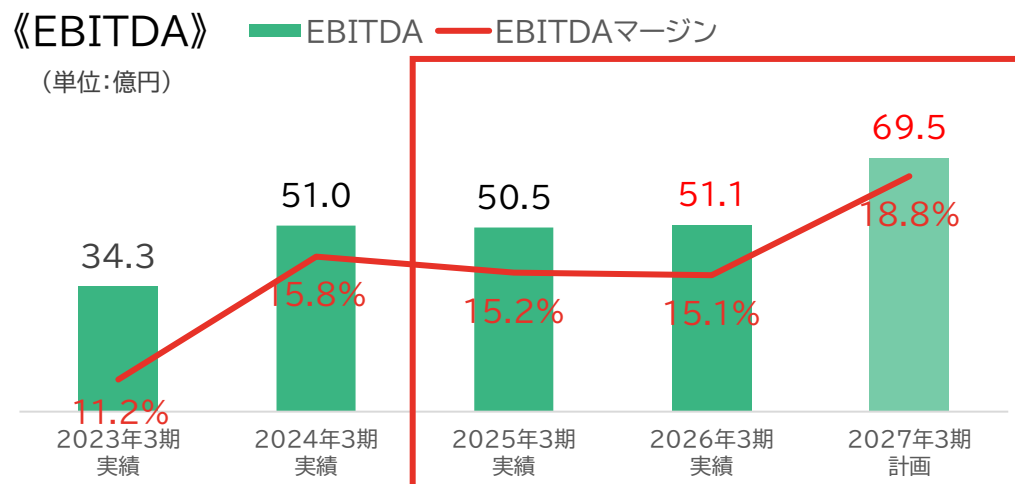
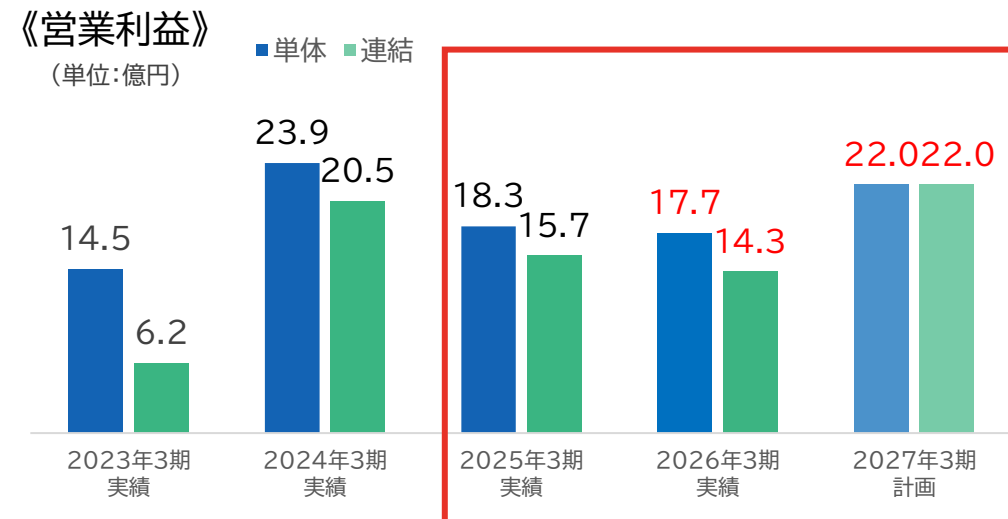
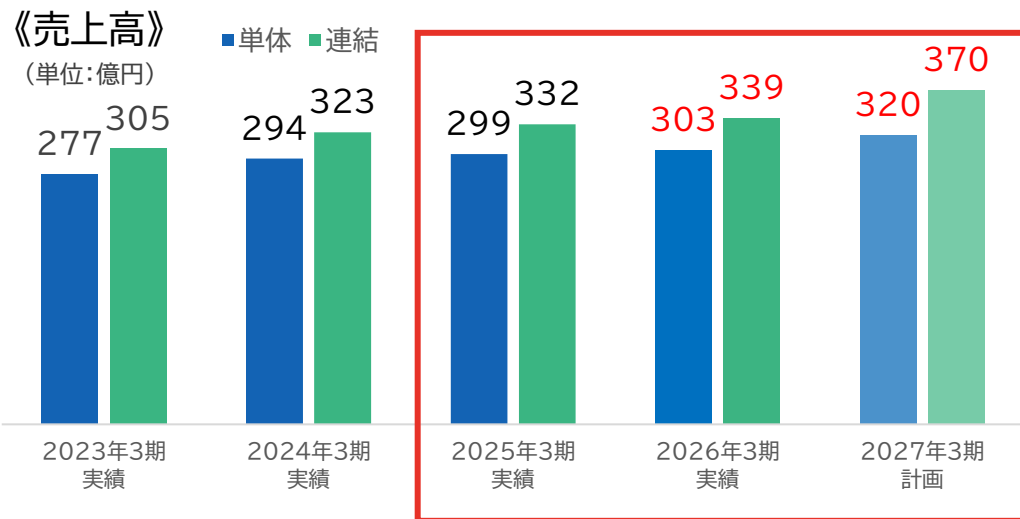
連結  
[百万円]  
百万円未満切捨て

	2026年3月期	2027年3月期見通し	<参考> 前期比較	
			増減額	増減率
売上高	33,942	<b>37,000</b>	+3,057	+9.0%
営業利益	1,439	<b>2,200</b>	+760	+52.8%
(営業利益率)	4.2%	<b>5.9%</b>		—
経常利益	1,406	<b>1,750</b>	+343	+24.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,135	<b>1,350</b>	+214	+18.9%

- 「シード1dayPureシリーズ」の中でも、特に乱視用や遠近両用等のスペシャリティレンズの販売に引き続き注力。
- 収益の柱である「シード1dayPureシリーズ」のリブランディングを推進。既存ブランドのマーケティング戦略を改めて見直し、「国産」「32枚入り」という商品特長を活かしながら、ブランドイメージや商品価値を再構築。
- 特に中国市場において、連結会社の完全子会社化により経営の意思決定スピードを一層高め、また、国際事業本部内に中国営業部を新設し、中国国内での売上拡大を進める。また、ベトナムやマレーシア等、今後の成長が期待できる東南アジア地域での販売強化につなげる。

# 中期経営計画(2024年4月～2027年3月)財務目標

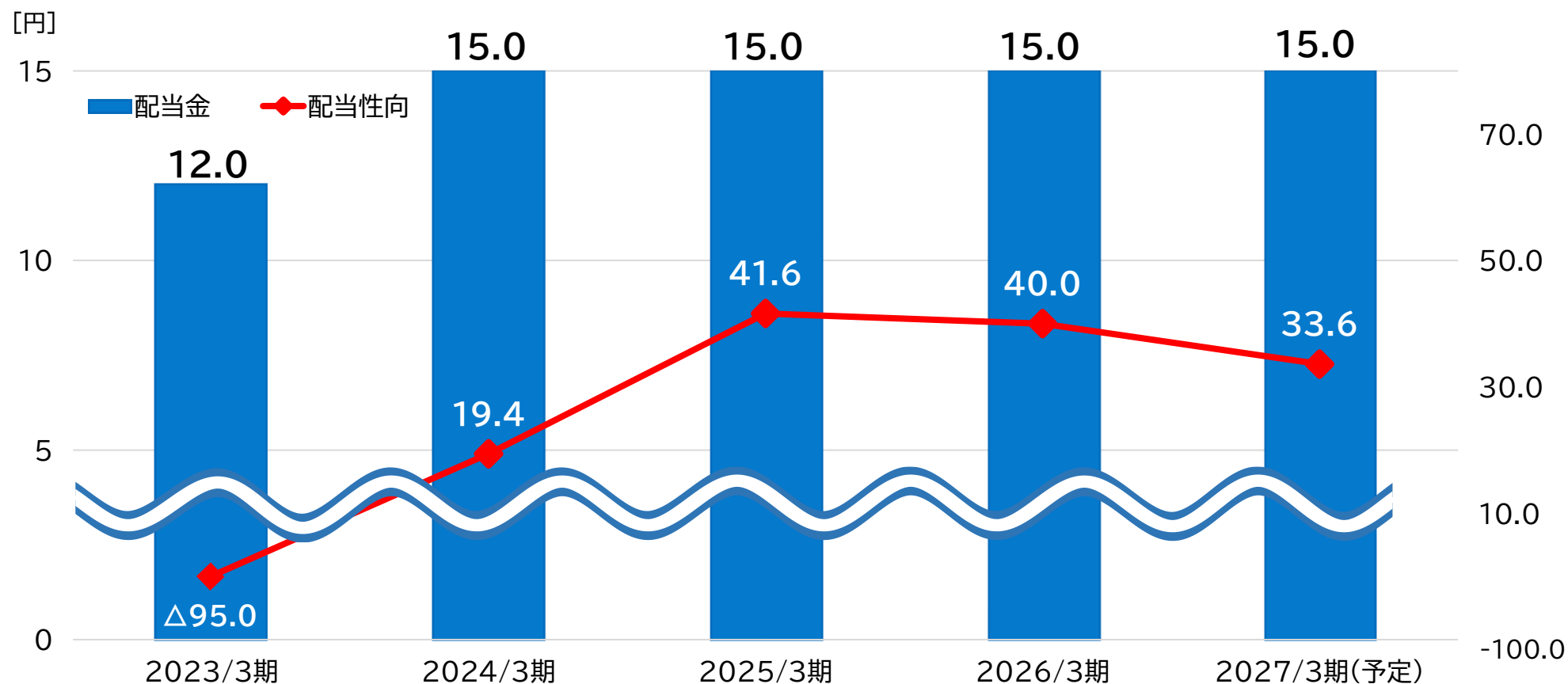
財務目標の見直し



- 2027年3月期は連結売上高 370億円とし、連結売上高 500億円を達成するための足場固めを行う
- 利益構造の改善を継続し、営業利益ベースでの増益を実現する
- キャッシュ創出力を強化し、EBITDA 69.5億円を目指す
- 利益効率を高め、ROE 6.9%(2027年3月期)を目指す

# 株主還元

適切な配当施策の実施のため、配当性向30~40%を目標とした配当の継続を目指す



今後の成長戦略と、株主への安定的な利益還元を継続していくこと等を総合的に勘案

1株あたり年間配当金額  
1株につき 15円

配当利回り: 2.5%

※2026年3月31日 株価(終値)606円

# 目次

1. 2026年3月期 決算概要
2. 2026年3月期 トピックス
3. 参考資料

# 参考資料:会社概要

当社は、多様な「みえる」喜びを創造できる社会の実現を目指してまいります

本社	東京都文京区本郷2-40-2
設立	1957年10月9日(昭和32年)
上場	1989年12月(平成元年12月)
証券コード	7743 東京証券取引所スタンダード市場
資本金	3,532百万円
従業員	1,489名(連結) ※2026年3月末現在、アルバイト・契約社員を含む
営業所	8(札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他)、その他駐在11(新潟・静岡 他)※2026年3月末現在
工場・研究所	研究所:シード鴻巣研究所(埼玉県鴻巣市)

1957年10月	会社設立 商号「株東京コンタクトレンズ研究所」	2017年 3月	東京証券取引所市場第一部に指定
1985年11月	ブランド名をマイコンから「シード(SEED)」に変更	2017年 9月	鴻巣研究所3号棟竣工
1987年 2月	商号変更「株シード」	2018年 4月	保育・児童施設 ふくろうの森 開園
1989年12月	社団法人日本証券業協会に株式の店頭登録	2020年11月	鴻巣研究所 製品・資材倉庫棟 新設
2007年 7月	鴻巣研究所を竣工	2022年 4月	東京証券取引所プライム市場へ移行
2011年 1月	鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合	2024年 4月	シード鴻巣研究所2号棟別館竣工
2014年 3月	東京証券取引所市場第二部に市場変更	2024年 5月	シード本社ビル竣工
2014年 8月	鴻巣研究所2号棟竣工	2026年 1月	シード鴻巣研究所4号棟竣工
2016年 6月	研究棟竣工	2026年 3月	東京証券取引所スタンダード市場に移行



「東京コンタクトレンズ研究所」当時の社屋



シード本社ビル



鴻巣研究所

# 参考資料: 取扱商品

## コンタクトレンズ事業

1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、広範囲の製品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています

### ●国産 Pureシリーズ

カテゴリ

単焦点

乱視用

遠近両用

スマホ眼用

遠近両用

1day



シード1dayPure  
うるおいプラス



シード1dayPure  
うるおいプラス乱視用



シード1dayPure  
マルチステージ



シード1dayPure  
View Support



シード1dayPure  
ED OF

2week



シード2weekPure  
うるおいプラス



シード2weekPure  
うるおいプラス乱視用



シード2weekPure  
マルチステージ

Made in Nippon



### ●特殊レンズ



シード 虹彩付ソフト  
ユーソフト

### ●従来型コンタクトレンズ



ハードコンタクトレンズ  
全6種7品



ソフトコンタクトレンズ  
全3種

### ●オルソケラトロジーレンズ



ブレスオーコレクト

### ●シリコーンハイドロゲルレンズ



シード1daySilfa

# 参考資料:取扱商品

## ●サークルレンズ

単焦点



シード Eye coffret 1day UV M

スマホ眼用



シード Eye coffret 1day UV M View Support

乱視用



シード Eye coffret 1day UV M TORIC

遠近両用



シード Eye coffret 1day UV M Multistage

## ●カラーレンズ

単焦点



ヒロインメイク 1day UV M

単焦点



ベルミー



NEW

※新色2種

# 参考資料:取扱商品

## ●シリコンハイドロゲルレンズ

単焦点



シード AirGrade 1day UV W-Moisture

単焦点



シード AirGrade 2week UV W-Moisture

乱視用



シード AirGrade 1day UV W-Moisture TORIC

乱視用



シード AirGrade 2week UV W-Moisture TORIC

## ●シードFineシリーズ

単焦点



シード 1dayFine UV plus

単焦点



シード 2weekFine UV plus

乱視用



シード 2weekFine UV plus TORIC

単焦点



シード MonthlyFine UV plus

## コンタクトレンズケア事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています



コレクトクリーン  
オルソケラトロジールズ  
(プレスオーコレクト)  
酸素透過性  
ハードコンタクトレンズ用  
タンパク洗浄液



フォレストリーフ  
うるおいW  
ソフトコンタクトレンズ用消毒剤



ピュアティモイスト  
酸素透過性  
ハードコンタクトレンズ用  
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW  
酸素透過性ハード・  
ソフトコンタクトレンズ用洗浄剤

## 多様な人材の確保

### ■働きやすい職場づくり

- ・企業主導型保育園の開園
- ・在宅勤務制度
- ・フレックスタイム制
- ・育児短時間勤務の拡大(小6まで)
- ・男性育休制度の推進
- ・病児保育料補助手当の支給
- ・奨学金返還支援制度の導入

### ■ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進

- ・外国籍社員雇用
- ・越境在宅勤務制度の採用
- ・パートナーシップ制度祝金等のLGBTQ支援制度策定

### ■障がい者雇用の推進

- ・「障害者就労施設プレミアムパートナー企業」として認定

## 災害対策

### ■自然災害、人災損害による被害の極少化への取組み

- ・BCPの恒常的な推進
- ・物流拠点の分散化
- ・災害初動対応マニュアル・事業継続活動マニュアルの作成
- ・災害時における安否確認システムの導入
- ・各事業所や全社用車への防災備品設置
- ・企業主導型保育園との防災連携
- ・災害時における一斉帰宅抑制の推進
  - \*東京都一斉帰宅抑制推進企業に認定
- ・シードと文京区が連携し「災害時における行政手続の活動支援に関する協定」を締結

### ■「eye×防災」の啓発

- ・災害に対する事前の備えとして、日頃から気をつけておきたい目の防災に関する啓発を実施

# 参考資料:サステナビリティ

## 地域・社会の課題解決に向けた取り組み

### ■行政との連携

- ・埼玉県鴻巣市包括協定締結
- ▶ブリスター回収活動における覚書締結(2024年4月)
- ・「BLUE SEED PROJECT」協定書締結
- ▶埼玉県三芳町・吉見町

### ■「SEED Projects Of Road To Sports」の活動

- ・埼玉西武ライオンズと協力し、「コンタクトレンズの SEED Presentsスターティングキッズ」の企画協賛
- ・ラグビーチーム「ヤクルトレビズ戸田」「静岡ブルーレヴズ」、ラクロスチーム「NeO」の所属選手へのコンタクトレンズの提供
- ・サッカークラブ「FC今治」への協賛、所属選手へのコンタクトレンズの提供

### ■出前授業の実施

- ・教育機関(小・中・高・大学他)への出前授業

### ■積極的な地域活動への参加

- ・地域イベントの参加、子ども向け理科実験教室開催

### ■芙蓉・女子美Venusファンドに賛同、展示場所を提供



## 環境への取り組み



### ■環境マネジメントシステムの構築

- ・カーボンニュートラル推進
- ・プラスチックリサイクル推進

### ■本社建設資金についてグリーンローン調達を実施

### ■エネルギー利用環境負荷低減事業適応計画の認定取得

- ・太陽光発電、エネルギー管理システム構築、水資源の再利用

### ■「シード1dayPureうるおいプラス96枚パック」パッケージリニューアル

- ・包装資材使用量の大幅カットで温室効果ガス排出量を削減

### ■「シードエコロジーマーク」の策定

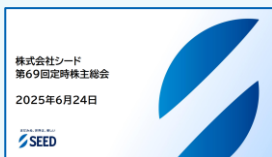
### ■サーキュラーエコノミーシステムの構築

- ・BLUE SEED PROJECTによるブリスター回収・再資源化  
【協力施設状況】  
眼科・販売店(関連子会社を含む):1,144施設/  
企業:53社/学校:13校/行政:3市町村  
(2026年5月12日現在)



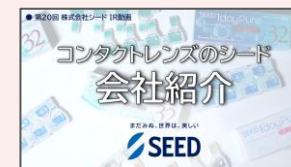
# 参考資料:当社に関する情報を公式ホームページやYouTubeで発信

## 当社HP



- ・決算説明会資料
- ・株主総会資料
- ・中期経営計画説明会資料
- ・IRレポート
- ・統合報告書
- ・有価証券報告書
- ・コーポレートガバナンス報告書 等

## 当社YouTubeチャンネル

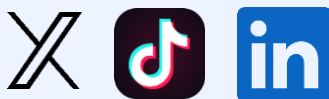


- ・決算説明会
- ・株主総会
- ・中期経営説明会
- ・その他IR情報 等

## その他SNS

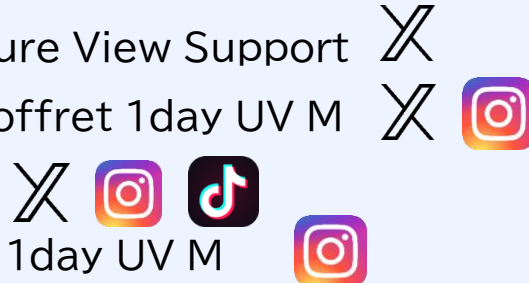
### シード公式

- ・TVCM
- ・製品説明動画
- ・決算説明会、株主総会、IRイベント
- ・IR動画
- ・CSR活動(イベントの告知等)
- ・啓発活動



### 【商品アカウント】

- ・シード1dayPure View Support
- ・シード Eye coffret 1day UV M
- ・ベルミー
- ・ヒロインメイク 1day UV M



## その他

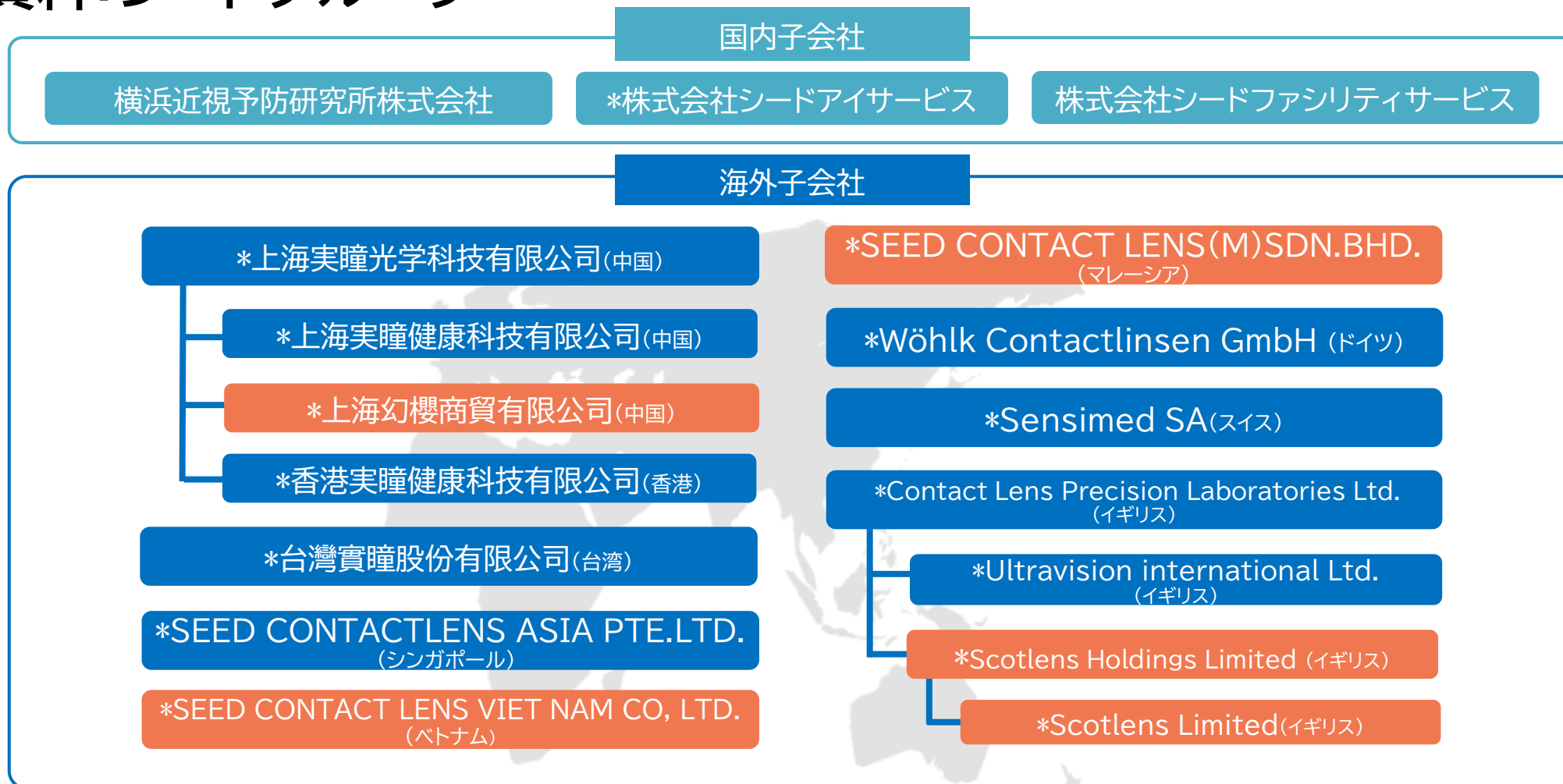
企業と個人株主・投資家をつなぐ



2022年6月20日(月)より、個人株主・投資家向けサービス「Sharebee」にてIRに関する情報・重要連絡をHPのIRサイトの掲載に加えて配信しております。

<https://sharebee.jp/>

# 参考資料:シードグループ



\*:連結子会社  
 ※2026年3月末現在

連結範囲	追加	SEED CONTACT LENS(M)SDN.BHD(4月)／SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.(4月) Scotlens Holdings Limited(4月)／Scotlens Limited(4月)／上海幻櫻商貿有限公司(6月)
	除外	SEED Contact Lens Europe GmbH(5月清算)

まだみぬ、世界は、美しい



本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。